

江中

## 風林火山

校長 大地本央仁

極端に暑くなったり、雨天が続いたり不安定な天気が続いています。新年度から2ヵ月が過ぎ、1学期も中間地点です。

さて、本年度の生徒会スローガンは、「風林火山～風のように早く切りかえ、林のようにまっすぐな心を持ち、火のように熱い友情で、山のように堂々とした江中生～」です。

込めた思いの中には、「授業、休憩、掃除などですぐ切りかえができる、まっすぐな心を持っている、お互いを認め高め合うことのできる熱い友情で、自分の考えを人の前でも堂々と発言をすることができる江中生を



## 込めた思い

授業、休憩、掃除などですぐ切りかえができる、まっすぐな心を持っている、お互いを認め高め合うことのできる熱い友情で、自分の考えを人の前でも堂々と発言をすることができる江中生を目指して欲しいという気持ちから  
戦国大名武田信玄になぞらえて  
風林火山になりました。

指して欲しいという気持ちから 戦国大名武田信玄になぞらえて風林火山になりました。」という言葉がつづられています。

「切り替え」「まっすぐな心」「熱い友情」「堂々とした」江中生徒会の思いが詰まった素晴らしい言葉だと思いました。その中でも特に惹かれた「まっすぐな心」という言葉についてPHPという冊子のコラムを紹介します。

## 【力よりも心】

力の論理というとおりに力を持つことはたしかに大切であろう。国にせよ、個人にせよ 物事を成すためには力が必須で、実力がともなってこそ、国も組織も変革がなされ幸福も築くことができる。

しかしながら、力を持つことで、国も個人も力に勝る者により劣る者が排除されたり、おとしめられたりしてしまうことがよくある。力を持つ前には謙虚でいたのに、力を持つと気位が高くなり、大切だったものを邪険に扱い、周囲の心を顧みようとなくなってしまう。

力の論理が世界や社会をどれだけ害していることだろう。ライバルを蹴落とし、強者が弱者を救わない話ばかり。世の中のいさかや不和が尽きないのは、力の論理だけで物事を動かそうとするからである。

力の論理よりも、心に訴える道理が行き届いているかが大切なのではないだろうか。あの人ならば信頼できる。あの国の方針こそ世界を平和にするという信用を持つこと。

綺麗事で世の中は動かない。けれども、心が納得して平穩に物事が動く、普通にそんな世の中でありたい。

(PHP 2023年12月号より引用)

「まっすぐな心」このスローガンのように「一人一人が「ありのまま」の人間として心を通わせながら挑戦し続けられる」そんな生徒が集っている江津中学校であれば、とても素晴らしいことだと思いました。

## 令和7年度 浜田ブロック大会開催

5月28日(水)の陸上競技を皮切りに浜田ブロック大会が開催されます。6月4日(水)～6日(金)には、その他の種目が各会場で行われます。

何を目的にして、どんな目標をもって取り組んできたかが試される大きな意味のある大会になると思います。昨年度の先輩方が何を考え、どうしてきたかをよき伝統として、目的達成のために力を尽くしてほしいと思います。また、毎年度お話しさせていただいていますが、どんな状況でも今まで全力で練習してきたことが必ず発揮できるように、何故うまくいっているのかをチームメイトや各自で確認することをお勧めします。それをよいルーティーンとして大会で発揮できるといいですね。それでは、充実した大会になることを願っています。